

竹野

昇議員

**仮称袋井南認定  
こども園を公立のままに**

**問** 袋井南保育所、袋井南幼稚園、高南幼稚園が統合されて造られるこども園は、当然、公立の園である。なぜ民間事業者に委ねることを検討しているのか当局に聞いたところ、「公立だと建設費は全額本市の負担になるが、民間だと半額国の補助が受けられる」とのことであった。

しかし、設立予定地のすぐ前に高南小学校、200メートル弱のところ、特別支援学校、北側に看護専門学校、100メートルもないところに高南コミュニティセンターがあり、新しいこども園が公立なら地域住民との交流も含めて、教育プログラムを作るうえで、連携・協力交流がやりやすいのではないかと。

**答** 仮称袋井南認定こども園は2022年4月開園を目指し、公設公営、公設民営、民設民営の三つの運営形態について、さまざまな観点から検討しているので、早期に方針を決定したい。



(仮称)袋井南認定こども園予定地 上田町グラウンド

**副市長車・議長車を  
兼用に1台に**

**問** 11市町調べて市長、議長、副市長及び副町長の3台所有が3市のみ。副市長及び副町長所有なしが8市町。経費節約のため、兼用はできないか。

**答** 市長が以前使用していた公用車を副市長が現在使用しており、兼用のために経費を使うべきではないとの論を受け入れるわけにはいかない。

木下

正議員

**防災、減災の取り組みは万全か**

**問** 9月議会で注意喚起した停電時救護所運営、災害時対応は万全であったか。

**答** 救護所運営が適切に行えるか改めて検証し、機器等の不足が確認された。今後は資器材の充実を図っていききたい。また、高南小学校で開催予定の救護研修会では、医療関係者の参加を予定し、救護所運営に反映していきたい。

**特別の教科「道徳」  
教育長の指導方針は**

**問** 道徳教育の指導力向上は、教育活動全般の指導力向上にも重要であるが、所見を伺う。

**答** 道徳的な課題を見つけ指導ができる教員は、児童生徒の思考を多面的に引き出し、他の教科でも深い学びを進めることができることから、教員としての資質向上に寄与すると考える。



どうとくの教科書、ノート

**袋井市公共施設等  
総合管理計画の現状は**

**問** 管理運営の効率化は図られているか。

**答** 本年度は使用料・手数料の見直しの年であり、受益者負担の原則の徹底やコストやサービスの在り方を整理していきたい。「袋井市市有財産活用基本方針」を定め、大規模な市有地6件について公募型プロポーザルの実施に向け準備中である。